



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月13日

上場会社名 オカダアイオン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6294 URL http://www.aiyon.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡田 祐司
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 前西 信男 TEL 06-6576-1281
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	8,456	△9.0	735	△16.5	758	△15.0	460	△17.1
2020年3月期第2四半期	9,296	6.0	881	△0.8	892	△2.8	554	△3.3

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 433百万円 (△16.2%) 2020年3月期第2四半期 516百万円 (△16.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	57.60	57.19
2020年3月期第2四半期	68.22	67.65

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	21,659	10,925	50.3	1,361.80
2020年3月期	21,617	10,715	49.3	1,336.28

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 10,890百万円 2020年3月期 10,659百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	28.00	28.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	28.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,000	△10.9	1,000	△26.9	1,000	△25.8	650	△26.5	81.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	8,378,700株	2020年3月期	8,378,700株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	381,715株	2020年3月期	402,015株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	7,987,518株	2020年3月期2Q	8,129,735株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（1）経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済及び世界経済は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う経済活動の停滞による消費の冷え込みや貿易の減少等により景気が急速に悪化し予断を許さない状況が続いています。

このような環境のもと、当社グループは、インフラ工事、災害復興、リサイクル、再生エネルギー関連の建設・産業用機械を取り扱っていることもあり、行政の指導のもと従業員や関係する皆様方の感染防止に努めつつ事業活動を継続し、顧客要請に対応した安定的な商品供給とアフターサービスを心がけてまいりました。また、接待費・出張費の抑制運用や会議のリモート化等により経費削減にも注力してまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高8,456百万円（前年同期比9.0%減）、営業利益735百万円（前年同期比16.5%減）、経常利益758百万円（前年同期比15.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益460百万円（前年同期比17.1%減）と減収減益になりましたが、連結業績予想は上回りました。尚、販売費及び一般管理費は1,710百万円（前年同期比9.3%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間のセグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

国内セグメントは、売上高5,751百万円（前年同期比7.9%減）となりました。機種別には、首都圏を中心にコロナ禍中での買い控え影響等もあり、主力の圧砕機の売上高は2,539百万円（前年同期比18.7%減）、油圧ブレーカの売上高は381百万円（前年同期比17.0%減）となりました。一方で、災害復興等の用途が見込まれるつかみ機は469百万円（前年同期比20.3%増）となりました。また、バイオマス発電向け等の需要が堅調な環境関連機器は、大型木材破砕機が順調に納入できた結果、売上高は937百万円（前年同期比27.2%増）となりました。アフタービジネスについては、原材料売上高が628百万円（前年同期比8.0%減）、修理売上高は390百万円（前年同期比1.6%増）となりました。その結果、セグメント利益は環境関連機器の利益寄与等ありましたが566百万円（前年同期比12.3%減）で減益という結果になりました。

海外セグメントは、売上高1,366百万円（前年同期比18.5%減）となりました。現地法人のある米欧では、コロナ感染拡大が一気に進み中、事業活動は継続したものの制限が大きく、米国では売上高896百万円（前年同期比27.1%減）で減収となりました。一方、欧州は売上高233百万円（前年同期比8.0%増）、昨年来苦戦が続いていたアジア地域は、同じくコロナ影響はあったものの、新商材の投入により売上高215百万円（前年同期比5.3%増）と前年並みを確保し回復の兆しが見られました。その結果、セグメント利益は米国での減収影響が大きく136百万円（前年同期比35.5%減）となりました。

南星セグメントは、売上高1,338百万円（前年同期比2.6%減）となりました。コロナ禍中での買い控え影響等もあり林業機械は売上高339百万円（前年同期比10.0%減）、金属スクラップ機械は売上高115百万円（前年同期比36.6%減）となったものの、ケーブルクレーン部門は再生可能エネルギーとして見直されている水力発電所の改修工事が安定していることもあり売上高600百万円（前年同期比34.3%増）となりました。一方、利益面に関しては経費削減等の効果もあり、セグメント利益は、55百万円（前年同期比21.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は、21,659百万円（前連結会計年度末21,617百万円）となり42百万円増加しました。受取手形及び売掛金が963百万円、商品及び製品が96百万円減少しましたが、現金及び預金が628百万円、建設仮勘定が463百万円、仕掛品が134百万円それぞれ増加したことが主な要因です。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は、10,734百万円（前連結会計年度末10,901百万円）となり167百万円減少しました。長期借入金が342百万円、短期借入金が198百万円、流動負債のその他が193百万円それぞれ増加しましたが、支払手形及び買掛金が1,133百万円減少したことが主な要因です。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、10,925百万円（前連結会計年度末10,715百万円）となり210百万円増加しました。剰余金処分の配当金支払223百万円を行いました。親会社株主に帰属する四半期純利益460百万円を計上したことが主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現段階において2020年8月7日に公表いたしました通期の見通しを変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,193,817	3,822,354
受取手形及び売掛金	4,930,165	3,966,900
商品及び製品	3,841,732	3,744,856
仕掛品	255,020	389,713
原材料及び貯蔵品	2,659,520	2,579,971
その他	452,712	378,561
貸倒引当金	△11,225	△8,795
流動資産合計	15,321,743	14,873,561
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,298,187	2,230,911
機械装置及び運搬具(純額)	598,801	571,581
土地	2,020,793	2,019,839
建設仮勘定	263,840	727,134
その他(純額)	78,927	74,263
有形固定資産合計	5,260,550	5,623,729
無形固定資産		
のれん	104,734	83,787
その他	262,434	366,316
無形固定資産合計	367,169	450,104
投資その他の資産		
投資有価証券	249,069	299,709
繰延税金資産	334,900	313,663
その他	86,394	101,999
貸倒引当金	△2,816	△2,816
投資その他の資産合計	667,547	712,555
固定資産合計	6,295,267	6,786,389
資産合計	21,617,010	21,659,951

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,537,877	2,404,872
短期借入金	3,354,405	3,552,890
1年内返済予定の長期借入金	456,472	522,320
未払法人税等	142,741	301,480
賞与引当金	215,037	207,914
その他	751,237	944,282
流動負債合計	8,457,770	7,933,759
固定負債		
長期借入金	1,920,132	2,262,832
退職給付に係る負債	480,448	491,082
その他	43,641	46,990
固定負債合計	2,444,222	2,800,905
負債合計	10,901,993	10,734,664
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,221,123	2,221,123
資本剰余金	2,263,081	2,271,057
利益剰余金	6,431,883	6,668,578
自己株式	△268,250	△254,709
株主資本合計	10,647,838	10,906,049
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,094	50,876
繰延ヘッジ損益	△1,513	△695
為替換算調整勘定	△5,321	△65,956
その他の包括利益累計額合計	11,259	△15,776
新株予約権	55,918	35,013
純資産合計	10,715,017	10,925,286
負債純資産合計	21,617,010	21,659,951

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	9,296,750	8,456,029
売上原価	6,528,611	6,009,894
売上総利益	2,768,138	2,446,134
販売費及び一般管理費	1,886,465	1,710,210
営業利益	881,673	735,924
営業外収益		
受取利息	6,119	2,855
受取配当金	5,709	5,997
固定資産売却益	6,780	18,386
貸倒引当金戻入額	5,704	2,423
その他	9,564	16,618
営業外収益合計	33,879	46,280
営業外費用		
支払利息	13,120	17,171
債権売却損	2,597	1,554
為替差損	3,369	4,607
その他	4,325	529
営業外費用合計	23,412	23,862
経常利益	892,140	758,342
特別利益		
新株予約権戻入益	—	12,928
特別利益合計	—	12,928
特別損失		
固定資産処分損	—	14,807
特別損失合計	—	14,807
税金等調整前四半期純利益	892,140	756,462
法人税等	337,515	296,421
四半期純利益	554,625	460,041
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	554,625	460,041

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	554,625	460,041
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△22,948	32,781
繰延ヘッジ損益	△4,421	817
為替換算調整勘定	△10,440	△60,635
その他の包括利益合計	△37,810	△27,036
四半期包括利益	516,815	433,005
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	516,815	433,005
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	国内	海外	南星	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,246,555	1,676,507	1,373,687	9,296,750	—	9,296,750
セグメント間の内部売上高又は 振替高	188,764	290	99,660	288,715	△288,715	—
計	6,435,319	1,676,797	1,473,348	9,585,466	△288,715	9,296,750
セグメント利益	645,877	211,105	45,412	902,395	△20,721	881,673

(注)1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△20,721千円の内訳は、のれんの償却額△20,946千円、セグメント間取引消去225千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	国内	海外	南星	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,751,225	1,366,537	1,338,266	8,456,029	—	8,456,029
セグメント間の内部売上高又は 振替高	192,671	3,578	89,294	285,544	△285,544	—
計	5,943,897	1,370,115	1,427,561	8,741,574	△285,544	8,456,029
セグメント利益	566,257	136,248	55,129	757,635	△21,711	735,924

(注)1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△21,711千円の内訳は、のれんの償却額△20,946千円、セグメント間取引消去△764千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。